An Alumni Bulletin

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

同窓会報

2006
No.47
1月1日

GOBYS

目次

巻頭言　同窓会会長　宮本一男 …… 2
常務理事　川竹敬三 …… 3
BRANCH INFORMATION（支部情報） …… 4
OB INFORMATION（OB情報） …… 7
DIT INFORMATION …… 7
CAMPUS INFORMATION（キャンパス情報） …14
OFFICE INFORMATION（事務局情報） …… 16
編集後記 …… 16

巻　頭　言

大同工業大学　同窓会会長
宮本　一男

新年あけましておめでとうございます。

同窓会員の皆様におかれましては、良き新春をお迎えになられたことと、ご拝察申し上げます。

大同工業大学同窓会も約２万名を有する同窓会となり、会員皆様のご協力のもと今日まで発展を遂げて参りました。誠にありがとうございます。

現在、本会には全国14支部があります。関東・静岡・山梨・信越・富山・福井・豊田・東三河・あいち・三重・滋賀・大阪・兵庫・四国です。

毎年、各支部長、役員の皆様方のご尽力で支部総会・家族会・勉強会・講演会など多様な企画が執り行われ、懇談の場が持たれております。会員相互の交流・親睦・情報交換を目的とし、さらなる発展を目指し活発に活動されております。

同窓会活動に参加されたことの無い会員の皆様も、是非支部活動に参加して頂き、新たな出逢いと、再会を楽しんで下さい。

皆様の一層の発展を図られれば誠に喜ばしいことです。

また、新たに現在、15支部目の岐阜支部設立が検討、準備されています。

新支部の設立に、一人でも多くの方のご賛同とご協力を頂ければと、努力致しております。

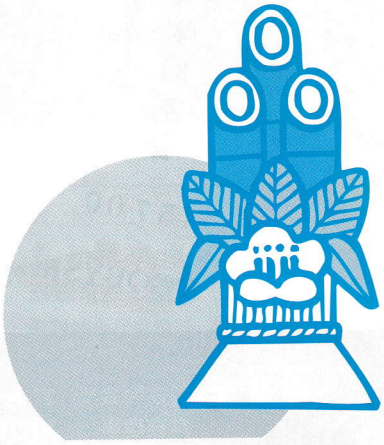
どうぞ、会員皆様の母校愛のお力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、母校大同工業大学におきましては、日々、目覚しい発展を遂げており平成16年度・現代ＧＰ、平成17年度・特色ＧＰ、文部科学省ＧＰをダブルで採択されるという快挙を成し遂げました。（ＧＰとは「グッド・プラクティス（優れた実践）」の頭文字で、いずれも大学教育の模範となるべき優れたプログラムであることを、文部科学省が証明するものであります。）また、週刊エコノミスト（2005.7.12号）で「学生を育てる力の高い大学」ランキング、第１位に記載されるほど、全国の大学からの注目も高まっております。こうした中、今年度４月よりロボティクス学科の新設に伴い、新学科棟の建設、新たな学科、専攻体制の確立、環境学園都市に相応しい、名鉄大同町（仮名、大同学園前・駅名変更要望中）の新高架駅舎、等々、新しい時代に向けて、さらなる大同学園の発展を推進されており、誠に喜ばしい限りです。

日本経済も本年は一層明るく、暖かい追い風が吹き、会員皆様のもとに届くことと思われます。さらなる躍進の年となることを、祈念いたしております。

輝く未来に向け、皆様と伴に、同窓会活動を推進し、素晴らしい一年を過ごしたいと気持ちを新たにしております。

今後とも会員の皆様が、ご健康で益々のご活躍をされますことをお祈り致しますとともに何卒、同窓会及び、母校　大同工業大学の発展に、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大同学園　常務理事
川竹　敬三

大同工業大学同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで新春をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。

私こと、昨年８月末より常務理事を務めさせていただいております。2003年７月に本学にまいりましたが、青春の多感な年代を過ごす学生を預かる大学の使命の大きさ、同窓会・ご父母・教職員更には社会に対する責任の重さを感じております。一生懸命務めて参りますので宜しくお願い申し上げます。

同窓会におかれましては、20,000名の会員を擁される中で、40周年を超えられ活発な活動をされ益々発展されておられることは誠におめでたくお喜び申し上げます。大同工業大学に対しまして同窓会の皆様から育英資金を初め物心両面でのご支援をいただき、暖かく見守っていただいていることは、在学生・教職員の大きな励みとなっております。心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は中部地方ではセントレアの開港・愛知万博の大成功など元気な年でした。国内の景気についても引き続き堅調でした。また社会のさまざまな局面で変革のスピードが問われ評価され始めた年でもありました。

一方で大学を取り巻く環境は、少子化に伴う18才人口の減少・国立大学の法人化等に伴い私立大学の20％が定員割れを起こし破綻するところも出るなど厳しさを増しつつあります。教育内容についても高校のいわゆるゆとり教育により大学で果たすべき役割が大きく変化しています。

大同工業大学は創造と調和の理念に基づき、教育力の強化と大学基盤の確立を目指して、新たな施策に着手し検討を進めてきましたが、本年も次のような取組みをして参ります。

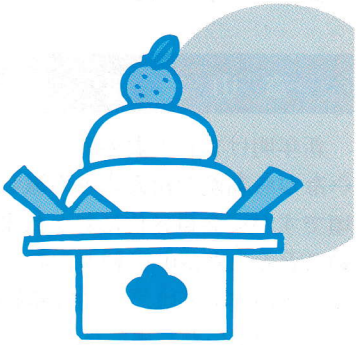
本年４月から各学科の持てる強みをより強化し社会ニーズへの対応・学生確保を図るためのウィング伸長策として、機械工学科・情報機械システム工学科の統合と専攻の設置、ロボティクス学科の新設、建築学科に福祉環境専攻の増設、情報学科の専攻見直しとともに、電気電子工学科・都市環境デザイン学科教育内容改訂等の学部学科の再編成を実施します。

昨年文科省の特色ＧＰに採択された授業改善の推進を積極的に進めます。又、自習室・コンピューター演習室・ホールの拡充など学生が大学のキャンパス内で勉強し過ごせる環境の整備、多様化する学生の学力補強をサポートする学習支援センターの拡充等６階建新棟の建設を初めとしたハード面増強も実施します。

研究面では、産官学連携のＮＥＤＯ燃料電池研究センターが開所され本学を中心に５年間に亘り活動展開します。

厳しい環境下ではありますが、学生に満足感を与え、同窓会の皆様そして社会により認めていただけるよう、学長のリーダーシップのもと魅力のある大同工業大学つくりに向け大学の総力を挙げてスピードを上げまい進してまいります。同窓会の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも同窓会の皆様がご健康で、益々ご活躍されることをお祈りいたします。



BRANCH INFORMATION

北陸支部　支部長　南　東基

新年明けましておめでとう御座います。同窓会々員の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さて母校も新学期よりロボティクス学科が増設される事になり、新たな歴史の１ページを刻もうとしています。日本のロボット技術は世界最高水準であり、母校で学んだ学生がいずれは世界視野で活躍するのも近い将来となるでしょう。卒業生の一人として頼もしく思っています。

それから名古屋地区は経済、産業の回復振りが目覚しくなって来たようで、母校の関連企業である大同特殊鋼でも新製品発表があった事を新聞紙上で知りました。従来のものより飛躍的に錆びにくいステンレス鋼を開発し、生産体制に入るとの事です。これは地元自動車関連分野では勿論、いろいろな産業機器に今後使われる事になり経済、産業発展に寄与するのは間違いのないところでしょう。

また、７月27日に打ち上げられたスペースシャトル・ディスカバリー号に関連して、澤岡学長がテレビ等に出演されたとき、大同工業大学学長と紹介され誇らしく感じたものです。

年頭にあたり、今年も母校の発展と同窓会々員皆様の益々ご健勝で活躍される事を祈願いたします。

富山支部　支部長　谷井　直之

新年明けましておめでとうございます。暖冬とはいいながら朝晩の冷え込みも激しくなっている今日この頃ですが<会員各位におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当富山支部では、平成17年10月29日に第３回の支部総会を開催いたしました。

同窓会より、宮本会長、愛知副会長、松田大阪支部長、梶信越支部長の奥さん、会員他５名の総勢９名の方が集まられました。

当日は、情報学部の愛知久史先生にお越しいただき、「地震イベントから地震が予知できるか？」という演題で講義していただき、地震発生地のアニメーションや接地抵抗を利用した観測など、テーブルクロスのスクリーン、座布団に座っての拝聴でしたが久しぶりに学生に帰った気分でお話をお聞きしました。

また宮本会長より同窓会の近況のお話をしていただき、会員の方には同窓会をより身近なものとして捉えていただいたと思っております

講演の後懇親会に移り、その後２次会etc　夜のふけるのを忘れるくらい飲み明かしました。

さて、今後の富山支部の行事ですが平成18年１月28日(土)～29日(日)長野県岩岳スキー場「ロッヂ樹林」にて冬の懇親会を予定しました。スキーや温泉も楽しめる企画ですので、ぜひ会員の皆さんの参加をお待ちしています。詳細は別途ご案内いたしますが、支部長までご連絡いただければ幸いです。

最後に会員各位のご健康とますますのご発展をお祈りいたします。

東三河支部　支部長　彦坂　修平

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、素晴らしい新年をお迎えになったことと心よりお喜び申し上げます。昨年は、政界において小泉自民党の圧勝に終り、今年はこの日本も郵政改革を始め我々庶民にとって、少しでも住みよい暮らしが出来る改革を期待したいものです。

私共東三河支部も早いもので今年の７月で設立５年目を迎えることとなります。今では年１回の総会と３回の懇親会を開催し、会員の相互親睦を深めております。開催するたびにメンバーが新メンバーを紹介し、今では約60名の正会員に増えました。地元愛知県には、あいち支部・豊田支部・東三河支部の３支部しかなく、これからは東三河のみならず西三河の皆様にも参加いただき会員数を増やすように役員一同張り切っておりますのでぜひお気軽にご参加ください。

最後に今年一年間、会員諸氏のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

東三河支部今後の予定

新年の懇親会	平成18年２月４日（土）
春の懇親会	平成18年４月９日（日）
第５回総会	平成18年７月１日（土）
秋の懇親会	平成18年10月

連絡先　支部長　彦坂修平　電話0563-62-4111
　　事務局長　米倉義明　電話0533-72-6209

四　国　支　部　　支部長　滝口　博久

新年明けましておめでとうございます。

同窓生の皆様におかれましては、ますます御健勝の事とお喜び申し上げます。

平素は同窓会支部活動に際しまして、卒業生各位のご支援ご協力に心より厚く御礼を申し上げます。

さて平成17年度四国支部総会を８月27日に香川県で開き、大学本部からは、宮本一男同窓会会長、澤岡昭学長のご参加を頂き、そして香川県を始め四国四県から卒業生の方に参集頂きました。総会では支部行事実施報告、予定等会務報告をさせていただき30分程で終了しました。懇親会では、宮本会長、澤岡学長より大学の現況を話していただきました。そして澤岡学長よりテレビ出演の時のユニークな話を交えて宇宙の話をしていただき、和やかな内に会を進めることができました。

昨年も新聞各社調査による就職ランキングで母校が上位に、又学生を育てる力の高い大学では１位に評価されています。さらなる母校の発展に貢献できるよう支部活動に一層の努力を行いたいと思います。今後も皆様方が益々のご活躍されますことをご祈念申し上げると共に、同窓会活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

今年度の行事予定を案内させていただきます。

ご多忙中とは存じますが、ご案内の折には是非ご参加下さるようお願い致します。

四国支部ホームページ　http：//www12.ocn.ne.jp/~fuji107/

平成18年度　四国支部年間予定表

月	日	行　　事	備　考
3	11	徳島県親睦会	第４回
6	10	愛媛県親睦会	第４回
8	19	四国支部総会	第21回
10	14	高知県親睦会	第４回
11	11	香親会（香川県親睦会）	第８回

山　梨　支　部　　支部長　藤井　豊

新年明けましておめでとうございます。

同窓会員の皆様におかれましては、素晴らしい新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

平素は、山梨支部活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年は、山梨支部の活動に、同窓会本部ならびに各支部の方々には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

本年も昨年同様お力添えをいただけますよう、よろしくお願い致します。

衆議院議員選挙が自民党の圧勝で終わった矢先、消費税の増税・サラリーマン控除の廃止など、庶民にとって厳しい年になりそうです。

山梨支部では、支部総会・懇親会を９月10日（土）石和温泉「糸柳」にて行いました。本部より武田副会長、支部より梶信越支部長に参加していただき、大学の近況や出席者の皆様の近況、そして、衆議院議員選挙投票日の前日だったため選挙情勢などについて活発に話しあい、年代に関係なく、時の過ぎるのも忘れ楽しく過ごすことができました。

今後の山梨支部の活動計画は、

18年 １月中旬　　新年懇親会
18年 ６月第２日曜　サクランボ狩りとバーベキュー大会
18年 ９月第２土曜　支部総会・懇親会
18年10月第１日曜　ぶどう狩りとバーベキュー大会

以上のような計画をしております。

卒業生皆様の親睦、情報交換の場として、是非多くの方に参加していただきますようご案内致します。山梨支部以外の方の参加も大歓迎します。

最後に、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

関東支部　支部長　宮﨑　定典

2006年、明けましておめでとうございます。

昨年のおめでたい事と言えば、紀宮様と黒田さんとのご成婚、ＴＶ中継で御様子を拝見させて頂きましたが、誠に素晴らしかったですね。国民の一人として心より御喜び申し上げます。

愛知県では、愛・地球博が半年の期間中、予想以上の入場者。世界中から2,200万人の人々が来場し、テーマである「21世紀に向け、自然との共生と、人間の科学の力・叡智を世界に発信する事」が出来、大成功で閉幕致しました。

又、日本の改革も、20世紀から21世紀に脱皮かと思われる今頃です。

我等、関東支部も「普段着の同窓会」を提唱して、今年で『25回』を迎える事になりました。四半世紀というと長く感じられますが、最初、新宿御園で鈴木昌治、藤枝俊樹両氏と小生の３人で設立話をしていた頃を懐かしく、つい最近の様にも思われます。その間、歴代学長、歴代理事長、名誉教授、現職の教授、助教授、学園関係者の方々に出席して頂きました。今、熱き思い出が走馬灯のように駆け廻っています。

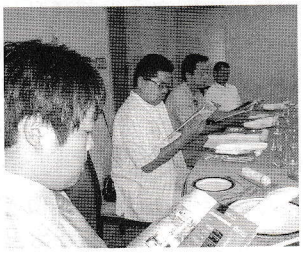
さて、25回の関東支部総会は、平成18年６月24日（土曜日）に記念行事を行いたいと思っています。只今、企画中です。詳細が分かり次第、会員の皆様にお知らせ致しますので、当日は、午前と午後、一日中空けておいて下さい。

総会、場所は、浅草葵丸進にて午後４時より行いますので、皆様、カレンダー、手帳に記入して頂き、お誘い合せの上ご参加下さる様、心よりお願い申し上げます。

〒111－0051
東京都台東区蔵前２－５－４　北條ビル405号
宮﨑　定典（62M046）
ＴＥＬ．０３－３８６２－３８３１
ＦＡＸ．０３－３８６２－３８３４

兵庫支部　支部長　田畑　稔幸

新年明けましておめでとう御座います。2006年の新春を迎え、各支部同窓会員各位に於かれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。



さて当支部総会・懇親会を９月３日（土）午後５時より開催致しました。この度は、発足から５周年を迎え、本部より宮本一男会長・愛知久史副会長が応援・祝福に駆けつけて下さいました。この場を借りて御礼申し上げます。

総会では、深川副支部長の司会進行により、下記内容で進めさせて戴きました。
①支部長挨拶　②宮本会長挨拶　③17度支部役員紹介及び18・19年役員選出　④愛知副会長から新設学科の紹介　⑤17年度後半行事報告　⑥質疑応答
以上の項目を約45分で終了致しました。

懇親会では、副支部長の進行により00Ｅ管　圭介氏の挨拶・乾杯で始まり、２時間の楽しい一時を過ごすことが出来ました。

平成18年度の総会日程やその他行事については当推進委員会の調整が取れない現状で決定していませんが、気軽に参加下さいますようお願い申し上げます。

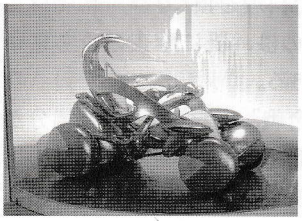
平成18年度支部役員（ＨＰ公開）が下記のように決定致しました。皆様のご協力をお願い致します。
理事：愛知久史　事務：高橋昌弘　支部長・ＨＰ担当・相談役：田畑稔幸　副支部長：深川常治・西田茂浩　副支部長・事務局長：川上　浩　事務局長補佐・副支部長補佐：寺前　弘　企画部長：大村一夫・井貝公三　広報部長：管　圭介

最後になりましたが、同窓会員各位のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

あ い ち 支 部　支部長　山口　敏幸

大同工業大学同窓会員の皆様、新春を寿ぎ謹んで新春のお喜びを申し上げます。昨年はあいち支部の活動にご支援、ご協力を賜りましたこと厚く御礼を申し上げます。

又、昨年は愛知県で開催された「愛・地球博」で盛りあがった年であったと思います。多くの卒業生の皆様は会場へ何度か足を運ばれた事と思います。遠路からの卒業生の皆様はこれを期に、懐かしい大学のキャンパスに足を向けて頂いた方もあるのではと思います。昔のイメージを一新した素晴らしいキャンパスに様変わりした大学をみて、さぞ驚かれたとご推察致します。この新入学時期には新しい学部も発足するとの事で、大学は益々整備をされた環境となります。


愛・地球博での１コマ

教職員との親睦ゴルフの１コマ

我々同窓会では卒業生の皆様のご子弟を応援する事も行っております。同窓会へのご参加をお待ちしております。

あいち支部の今年の行事計画は下記の通りです。是非ご参加を！
平成18年５月　教職員との親睦ゴルフ
平成18年９月　ファミリーイベント
平成18年11月　支部総会
平成18年12月　親睦ゴルフ
以上の予定です。

あいち支部総会での1コマ

詳しくは同総会事務局までご一報下さい。
名古屋市南区滝春町10丁目３番地
大同工業大学同総会事務局（成田さんまで）
電話　０５２－６１２－８５５０
FAX　０５２－６１２－８５５０
E－mail　office@gobys-net.com

豊 田 支 部　支部長　山本　由和

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、益々清栄のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会本部をはじめ関係者の皆様のご支援、協力を頂き誠に有難うございます。

豊田支部は11月12日、第18回支部総会、懇親会を開催いたしました。総会では役員改選、会計報告等、審議賛同を頂きました。

当支部は、東西加茂合併で、400名を越す会員数と

成り、より一層の組織強化と、会員皆様の身近な同窓会に育つ様、役員一同努力していきたいと思います。

懇親会では自己紹介、近況報告、会員相互の情報交換に短い時間でしたが有意義な場になったと思います。

昨年は愛知万博の大成功と、自動車関連産業を中心とした好景気に支えられ大変忙しい活気の有る良い年で終わり、今年も昨年同様活気の有る年を願いたいものです。

近年になく初めて参加頂いた会員が多く、役員一同大変嬉しく20周年の足がかりとし、支部活動が昨年以上活性化するよう、皆様のご意見、ご支援をよろしくお願いいたします。

OB INFORMATION

燎　会

昨年は７月９・10日、「グリーンホテル三ヶ根山」において29名の参加を得て開催いたしました。本年も７月第２土日（８・９日）で開催を予定致しております。開催場所については決定次第ご案内いたします。なお、今後の案内手段等について現在検討中であり、次回ご案内と併せてご相談させて戴きますので、よろしくお願い致します。

連絡先：愛知久史宛
E-mail：hiasashi@daido-it.ac.jp
FAX：（０５２）６１２－５６２３

DIT INFORMATION

● 新　任　者　紹　介 ●

10/1	工学部建築学科	清水　郁郎	助教授
1/1	工学部ロボティクス学科	溝口　正信	教授
	情報学部情報学科	小高　直樹	助教授

● 退　任　者　挨　拶 ●

「年頭挨拶」

前常務理事　小野　二朗

皆さん、明けましてお目出とう御座います。各自どのような正月を迎えられたでしょうか？

さて、日本は略４ヶ月ごとに季節の変わり目があり、各季節毎の伝統的な行事や決め事によって各自の生活や気持ちの切り替えがなされる。ただ、気持ちの切り替えという面では、新年の元旦に勝るものはないだろう。各家庭により、元旦の迎え方は微妙に違うと思うが、その年の無事を祈る気持ちは共通であろう。

我が家の元旦の風景は次のようなものである。日常生活そのままに朝６時前に起床、洗顔の後、仏壇に本日の一番茶を呈茶、女房と般若心経をお唱えし、ご先祖様に昨日までの無事の感謝と本日の無事を願う。但し、元旦はこれに少し加えて、家族一同の無病息災と特に孫達の健全な発育を願う。それから家族一同揃って、新年の儀式を行う。儀式といっても大したものではないが、全員でお屠蘇を飲み、改めて新年の挨拶をし、各自が年の始めに当って年度の抱負を述べ、その後、我が家伝来の雑煮、正月料理を頂く。

改めて新年の挨拶というのは、既に昨夜のうちに新年の挨拶をしているからである。

前夜にＮＨＫの“紅白歌合戦”を見て、23時45分からの“ゆく年・くる年”の除夜の鐘を聞き、新年を迎えた瞬間にお互いに居住まいを正し、“明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。”

と挨拶をする。従って元旦の朝の挨拶は２度目となるわけである。しかし、朝の挨拶はこれが新しい気持ちで行うものであり清々しい。

食事後暫くしてから近くの神社にお参りし、無病息災、世の中の安寧を祈願する。

これが我が家の又小生の元旦の過ごし方であるが、よくよく考えてみると両親が行っていた元旦の過ごし方を旦に踏襲しているのにすぎないのに気付く。これが慣習であり、伝統というものであろうか。

ところで、小生は昨年８月末に引退した。従って本年の元旦の年度抱負はこれ迄と違ってシンプルなものである。即ち“引退後今だに今後何をやるべきか決めていないが、当面体力を維持すること、リズムを持った生活をすることとしたい”と述べた。

従来であると経営者という立場上、家族の前では口には出さなかったが、全体を考えた中身のある年間の目標・抱負であったが、本年のそれは自分のことだけで恥ずかしい限りである。

そこで、現在の世の中の風潮に対して若干苦言を呈し、多少なりとも新年の挨拶に実をつけることとする。

現在の世の中は改革・改善という言葉が大手を振り過ぎているように感ずる。改革という名を借りて、何でもかんでも既存の制度や仕組みを打ち壊すことが善であり、又それが本来の仕事であるというように動いているように思える。仕事をするということは、与えられた仕事をきちっとこなし、更に自ら考え新しい事を創ることだ。また、改革・改善はもっと地道で苦しいものだ。現在の制度・仕組み・慣習・行事・仕来り、快め事はその時代・時代に必要で、且つ生き残ってきた規範であり、価値観である。我々の行動規範であるこれ等は、時代が大きく変わり現状にそぐわないものが多くあろうが、これを改革・改善するにはそれができた経緯を充分理解し、新しい考え方を加味していくことが重要だ。改革・改善・効率化ということは、旧来を全面否定するのではなく、世の中の大きなうねりというものを敏感に感じ取り、旧来を充分理解・研究し、自らが考えて新しいものを創り出していくことだ。即ち温故知新こそ改革・改善の要諦といえる。

自ら新しいものを創り出していくという信念や考えなしに、他者の動きに動揺してこれに追随し、それを改革・改善の美名の元に実行に移したことがバブル経済をもたらしたことは記憶に新しい。他者に追随したり模倣すること程、愚かなことはない。

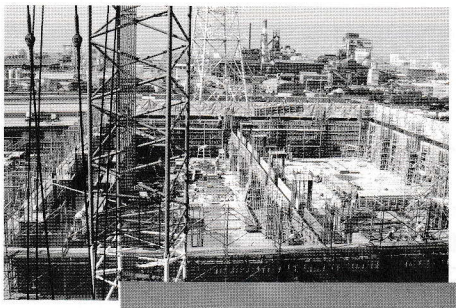
是非共、これからの時代を担う方々が温故知新の精神を尊重し、新しい時代創りをされていくことを切に望むものである。

何か老人の戯言みたいになってきた。年を取るのは必然とはいえ、恐ろしいものだ。

やはり、本年は大人しく体力維持に努めて老化を防ぎ、戯言を云わぬ１年とすることにしよう。

● 新棟建設進む ●

平成18年４月新学科「ロボティクス学科」開設に向けて、Ａ棟本館西側に鉄筋コンクリート構造６階建、延床面積6,000㎡の工事が進んでいます。この新棟にはロボティクス学科に必要な講義室、実験・実習室のほか学習支援センターなどが配備され、2007年３月の完成予定です。



● 燃料電池開発事業 ●
（NEDO燃料電池委託事業）

大同工業大学を舞台に繰り広げられる、国家的プロジェクト。

NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託を受け、大同工業大学を舞台に国家的研究開発事業がスタートした。全国の各ブロックを代表する研究機関のひとつとして、自動車用燃料乾電池実用化に向けた技術開発を進めていく。大同工業大学グループは、本学機械工学科　堀　美知郎教授を代表として、立命館大学、三重大学、信州大学や複数の企業等が参加。

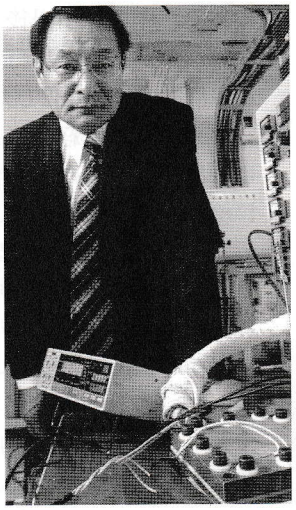
概　要	事 業 名／「NEDO固体高分子形燃料電池実用化戦略的技術開発事業」 研究期間／平成17年度～平成21年度 研究区分／「基礎的・共通的課題に関する技術開発」

研究内容

この研究開発事業は、2020年～2030年での燃料電池自動車の普及実現をめざして、自動車固体高分子形燃料電池に焦点を当てて展開されているプロジェクト。大同工大グループは「基礎的・共通的課題に関する技術開発」という研究区分における、「水管理によるセル劣化対策の研究」に取り組んでいる。その目的は、燃料電池の劣化メカニズムを明らかにし、それに対する対策を示すこと。自動車用固体高分子形燃料電池の実用化に向けて重要なテーマである。“耐久性の見極め”に力を注いでいく。

実践の背景

燃料電池の基本原理が考案されたのは、1839年のこと。実に160年以上の歳月を経て、ようやく現在、本格的な実用化の時代を迎えようとしている。現在は電気自動車電源、家庭用電源、事業用電源などへの応用をめざして、さまざまなメーカーが開発にしのぎを削っている段階だ。その中で最も実用化が難しいとされているのが、自動車用の燃料電池。自動車が使われる環境は、高温の砂漠地帯から氷点下の地域までと幅広いため、家庭用など他の用途のものに比べて高い耐久性が要求されるからである。



堀　美知郎　教授
（工学部機械工学科先端機械工学専攻）

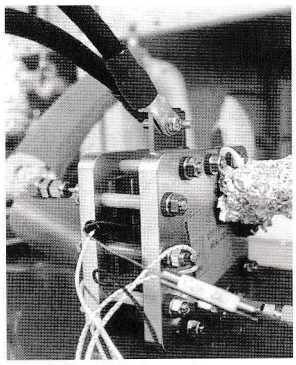
なぜ大同工大なのか？

自動車用燃料電池を実用化する上で特に難しいと言われているのが、発電時に発生する「水」の管理。この問題はこれまでも、劣化対策に取り組む上で、最も重要なテーマとされてきた。その「水」の問題に特化して研究を進め、高い実績を残してきたのが、大同工大。NEDO燃料電池開発事業の研究委託の決定は、これまでの本学の実績が高く評価された結果なのである。

「自動車用燃料電池の場合、実用化にはまだ10年から20年の年月が必要と言われている。しかし、水素エネルギーの時代、すなわち燃料電池の時代は必ず訪れる。その時期をできるだけ早くすることが、私たちに課せられた使命」と、プロジェクトリーダーを務める堀先生。本格的な自動車用燃料電池実用化のための技術確立に向け、果たさなければいけない役割は大きい。

＜参考＞燃料電池とは？

燃料電池とは、水素と酸素を電気化学的に反応させることによって電気を発生させる新しい発電装置。発電効率が40％～60％と高く、消費地に直接設置できるため送電損失がない。しかもコージェネレーション（熱・電気供給）用としても適していることから、省エネルギー効果も期待できる。使用できる燃料は、天然ガス、メタノール、石炭ガスなど。地球温暖化、化石燃料の枯渇などの問題が深刻化しつつある中、石油に代わるクリーンなエネルギーとして大きな期待が集まっている。



燃料電池用セル

● 入 学 試 験 情 報 業 ●

時代に応える、
新たな挑戦

あけましておめでとうございます。
年が明け、いよいよ入学試験も本番を迎えます。
工学部・情報学部において下記の日程で入学試験を行います。

■入試日程

一般入学試験	M方式入学試験	前期入学試験	中期入学試験
試験日	2/3(金)	2/7(火)・8(水)	2/23(木)
出願期間	1/10(火)～1/26(木)	1/10(火)～1/30(月)	2/9(木)～2/17(金)

大学入試センター試験利用入学試験	前期利用	中期利用	後期利用
試験日	センター試験 1/21(土)・22(日) 本学独自試験はありません		
出願期間	1/10(火)～2/6(月)	2/17(金)～3/3(金)	3/2(木)～3/17(金)

■奨学生試験

M方式入学試験・前期入学試験・大学入試センター試験利用前期入学試験において上位成績優秀者（約45名）を奨学生として認定します。
奨学生入学者については学納金（授業料等）の半額程度を奨学支援します。

■入学検定料

一般入学試験35,000円、大学入試センター利用入学試験　20,000円
第二志望、センター利用学内併願は一学科5,000円の加算で受験が可能です。

■入試科目

3教科入試　M方式入学試験　前期入学試験
Ⅰ型受験　数学必須、理科・外国語・国語から2教科2科目選択の3教科受験
Ⅱ型受験　外国語必須、国語・地理歴史・数学か2教科2科目選択の3教科受験

2教科入試　中期入学試験
Ⅰ型受験　数学、外国語、理科を受験、数学と高得点教科の2教科判定
Ⅱ型受験　外国語、数学、国語を受験、高得点2教科判定

Ⅰ型　機械工学科(機械工学・先端機械工学専攻)・ロボティクス学科・電気電子工学科
建築学科(建築専攻)・都市環境デザイン学科
情報学科(コンピュータサイエンス・情報ネットワーク・メディアデザイン専攻)
Ⅱ型　建築学科(福祉環境専攻)・都市環境デザイン学科・情報学科(メディアデザイン専攻

皆様のご子弟、ご兄弟姉妹、ご親戚、知人あるいはお近くの方で、工学・情報系の大学への進学をお考えの方が見えましたら、本学への受験をお勧めくださいますようお願い致します。
各入学試験の詳細内容につきましては入試室までお問合せください。
皆様のますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

平成18年度 推薦系入学試験の結果をお知らせします。

■ ＡＯ入学試験

学部	学科	専攻	エントリー	体験授業 受講者数	体験授業 合格者数	体験授業 倍率	志願者数	合格者数
工学部	機械工学科	機械工学専攻	34	34	8	2.3	8	8
		先端機械工学専攻			7		7	7
	ロボティクス学科		14	14	10	1.4	10	10
	電気電子工学科		27	25	14	1.9	13	13
	建築学科	建築専攻	31	31	5	3.9	5	5
		福祉環境専攻			3		3	3
	都市環境デザイン学科		26	25	10	2.6	9	9
情報学部	情報学科	コンピュータサイエンス専攻	35	35	7	2.3	7	7
		情報ネットワーク専攻			8		7	7
	情報学科	メディアデザイン専攻	27	26	9	3.0	9	9
計			194	190	81	2.3	78	78

■ 推薦・専門高校推薦入学試験

学部	学科	専攻	推薦入試 志願者数	推薦入試 合格者数	推薦入試 倍率	専門高校推薦入試 志願者数	専門高校推薦入試 合格者数	専門高校推薦入試 倍率
工学部	機械工学科	機械工学専攻	45	22	2.0	6	3	2.0
		先端機械工学専攻	5	5	1.0	5	5	1.0
	ロボティクス学科		20	7	2.7	1	1	1.0
	電気電子工学科		43	36	1.2	2	2	1.0
	建築学科	建築専攻	34	16	2.1	0	－	－
		福祉環境専攻	2	2	1.0	1	1	1.0
	都市環境デザイン学科		18	16	1.1	6	6	1.0
情報学部	情報学科	コンピュータサイエンス専攻	24	14	1.7	0	－	－
		情報ネットワーク専攻	27	18	1.5	0	－	－
	情報学科	メディアデザイン専攻	12	3	4.0	0	－	－
計			230	139	1.6	21	18	1.2

■お問い合わせ先　入試室　ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ　０１２０－４６１－１１５
TEL 052-612-6117　FAX 052-612-0125　E-mail nyushi@daido-it.ac.jp

●平成17年度の就職状況について●

●求人状況

自動車産業を筆頭にした中部地区の製造業の元気さは相変わらずで、就職希望者約750名（院生含む）に対して、昨年対比36％増の4800社からの求人を頂きました。さらに今年驚いたことは、秋採用・追加採用を実施された企業の中で大企業に分類される企業が少なからずあったと言うことです。

●就職活動・内定状況

企業の採用活動は、早期化是正の全国的な動きから内々定が出る時期が４年次生の４月にずれた感があるが、いい人を早く採用確保したいため、水面下の動きは相変わらずです。

本学の内定状況は、10月末現在85.8％と、順調であった昨年よりは５～10％程度上回った状態で推移してきました。しかし、この時期になり内定推移もかなり鈍くなって来ています。これは、学生の２極分化がよりはっきりとした状況の現れと考えています。すなわち、求人状況が好転しても、就職意欲が湧かず活動を止めている人、自分の進みたい分野がはっきりしない人、数度の失敗で挫け活動を止めた人等、就職活動不活発者が取り残される状況はなくなりません。このように取り残される人が出ないようにするには、低学年からの意識を高めていく必要があります。

私どもは、平成17年４月より従来の就職指導部を改めキャリアセンターとして出発することになりました。３年次生以降の就職支援はより充実を目指し、さらに、低学年からのキャリア教育を拡充していきますのでご支援をお願いいたします。

●インターンシップのお願い

インターンシップとは「学生が在学中に教育の一環として、自らの専攻・将来のキャリア（職業）に関連した企業等で一定の期間に職業体験を行う仕組み」です。本学では、夏休み期間中の２週間のインターンシップを通じて学生に企業実務等を経験させることにより、教育上の効果を高めると同時に企業経営と職務の一端を理解させ、学生の職業感育成や職業選択にとって有意義な経験を積ませることを目的としています。

現状は、まだまだ参加する学生が少ないですが、今後キャリア教育の一環として増やしていくことを考えています。皆様の勤務先企業でも趣旨をご理解頂き、ご協力頂きますようお願いします。

お問合せ・連絡先：キャリアセンター（大脇・甲谷）
TEL 052－612－6230（ダイヤルイン）
FAX 052－612－6251
E-mail：shushoku@daido-it.ac.jp

以上

CAMPUS INFORMATION

バレーボール部

＜05秋季リーグ結果＞

大同工大　０－３　中京大
大同工大　１－３　朝日大
大同工大　１－３　静岡産大藤枝
大同工大　１－３　愛知学院大
大同工大　０－３　名城大
大同工大　２－３　愛知大
大同工大　３－０　静岡大

＜下位リーグ戦＞

大同工大　０－３　名城大
大同工大　２－３　朝日大
大同工大　３－０　静岡大

成績　２勝７敗（７位）

10/22　入替戦結果
大同工大　３－０　静岡産大磐田

１部残留

ハンドボール部

＜05秋季リーグ結果＞

大同工大　２５－２４　中京大
大同工大　２９－１８　愛知学院大
大同工大　３４－　７　岐阜大
大同工大　２５－１６　愛知大
大同工大　２７－３２　名城大
大同工大　２４－３３　中部大
大同工大　３５－１７　愛知教育大

＜プレーオフ＞

大同工大　２３－２６　名城大
大同工大　２１－３５　中部大
大同工大　２３－２２　中京大

成績　６勝２敗（３位）

漕艇部

8/7　市民スポーツ祭
ダブルスカル　(01E石丸、02A深谷)　優勝
シングルスカル　(05B菅沢)　４位

9/18　名古屋レガッタ
ダブルスカル　(01E石丸、02A深谷)　準優勝

10/6　全日本大学選手権（インカレ）
ダブルスカル　(01E石丸、02A深谷)
準決勝敗退
シングルスカル　(05B菅沢)　予選・敗復敗退

10/15　中部学生新人選手権
シングルスカル　(05B菅沢)　準決勝敗退

自動車部

8/7　東海ｼﾘｰｽﾞ第７戦(ｼﾞﾑｶｰﾅ)
ｸﾗｽ　ＮⅡ　(05MM近藤)　優勝
ＳⅠ　(04M渡辺)　９位

8/20　全日本学生ジムカーナ選手権大会
ＳＣ　Ｂ決勝　３位

9/18　東海ｼﾘｰｽﾞ第８戦(ｼﾞﾑｶｰﾅ)
ｸﾗｽ　ＳⅠ　(04M渡辺)　２位

レーシングカート部

7/31　APGCUPｼﾘｰｽﾞ第４戦
　　ﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ　(05M中嶋)　　８位
8/9　第10回L.I.K全国学生カート選手権
　　SSｸﾗｽ　(02M榊原)　　６位
　　PRDｸﾗｽ(05M中嶋)　　５位
8/20　SL ﾚｲﾝﾎﾞｰｶｯﾌﾟｼﾘｰｽﾞ　Rd.5
　　(02M榊原)　　３位
9/24　SL ﾚｲﾝﾎﾞｰｶｯﾌﾟｼﾘｰｽﾞ　Rd.6
　　(02M榊原)　　12位
11/6　APGCUPｼﾘｰｽﾞ最終戦
　　PRD (F) class　(05M中嶋)　　２位

陸上部

9/15 第58回西日本インカレ
　　10,000m決勝　(02C奥野)　　14位
　　3,000mＳＣ　(03J道家)　　19位

バドミントン部

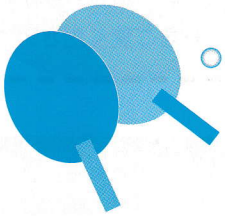
9/30 第25回愛知大学ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ選手権大会
　　１回戦敗退

ダンス同好会

10/16　秋季西日本学生競技ダンス選手権大会
　　一次予選敗退
10/30　東西対抗戦
　　一次予選敗退

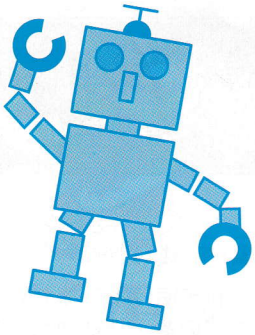
卓球研究会

10/22　東海学生卓球各部別大会
　　ダブルス　(02C真弓、02J稲垣)　ベスト16
　　(03J馬路、04C築)　ベスト16
　　シングル　(02J稲垣)　ベスト16
　　(04C都築)　ベスト 8



ロボット研究同好会

世界からくりコンテスト（愛知万博主催）
　　(03Ｊ049　近藤)　最終審査へ
　　〔１ヶ月間万博出展〕
第８回 Robo One 大会（２足歩行ロボット競技）
　　(02J001　青木)
　　受賞＝近藤科学賞、バンプレスト賞



2005.4.1「個人情報保護法」の施行に伴う対応について

大同工業大学同窓会は、会員相互の和親の向上をはかり、大同工業大学の発展に寄与することを目的として活動しております。この目的を遂行するために必要な同窓生の個人情報をお預かりしております。本会は個人情報の適切な利用と保護の徹底をはかり、会員の信頼を得るために、個人情報に関する法律等を遵守します。また会員の個人情報は大学と共同利用しています。何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

個人情報の取り扱いについて詳しくはホームページ上に掲載されます大同工業大学同窓会個人情報保護ポリシーをご覧ください

OFFICE INFORMATION

■愛知県私立大学同窓会連合会定例事務局会議■

昨年平成17年７月の同窓会連合会総会において、大同工業大学同窓会が幹事校（平成17、18年度）となり、11月18日に本学本館14階において定例事務局会議が開催されました。連合会参加10校のうち愛知大学、愛知工業大学、中部大学、南山大学、日本福祉大学、名城大学、大同工業大学（宮本会長、愛知副会長、大矢事務局長、小堺局員）各同窓会７校，総勢14名出席されました。会議に先立ち宮本会長（連合会会長）より挨拶があり、審議に入りました。各校より出席者の自己紹介と各大学同窓会の近況報告があり、個人保護法に係わる取り組み、同窓会会費、会報発行等について述べられ、情報交換がなされました。また、連合会としての議題についても審議され、参加校の増強等諸問題について討議が行われました。

★同窓会事務局フリーダイヤル★

ご要望、情報等にご利用ください

ゴビーのお兄さん

0120-531023

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年の愛・地球博も盛況のうちに閉幕となり、静けさを取り戻した昨今ですが、地球全体で眺めれば、地震災害、ハリケーン、鳥インフルエンザ、原油価格高騰など様々な事件がマスメディアを賑わせています。2007年戊年が皆々さまにおかれまして、良き年となりますことをお祈り致します。

発行　大同工業大学同窓会
名古屋市南区滝春10－3
直通電話・FAX〈052〉612-8550
滝春校舎代表電話〈052〉612-6111
責任者　会長　宮本一男
印刷　名港印刷株式会社